

平成28年度全国学力・学習状況調査結果〈山王小学校〉

調査の目的について

本調査の目的は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。（実施要領）」です。

本校では、この趣旨に基づき、常に教育活動の改善を図り、学習指導の充実に努めてまいります。本「調査結果」により保護者並びに地域住民の皆様にも、結果の概要をご理解いただき、今後も引き続き本校に対してご協力とご支援をいただきたくお願い申し上げます。

なお、この調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部であり、この調査から得られる情報で、お子様や本校児童の学力のすべてを評価されるものではないことをご理解賜りますようお願い申し上げます。

○実施月日平成28年4月19日（火）

○実施学年第6学年（78人実施）

国語A・算数A:知識**全国値レベル** 国語B・算数B:活用**全国値を下回る**

〈 学力調査について 〉

国語A・算数A：知識が全国平均と同等で、
国語B・算数B：活用が全国平均との差が大きくありました。知識の活用力や表現力に依然課題があります。一方、知識における学力の底上げは着実に進んでいます。

	平均正答率(%)	
	本校	全国(公立)
国語A	72	72
国語B	49	57
算数A	77	77
算数B	42	47

■学校の取組

○ 朝の活動時間（8：25～8：40）に基礎学力の定着を図っています

基礎学力の定着を目的に月曜日〈国語：言葉サプリ〉・水曜日〈算数：算トレ〉を行っています。

〈言葉サプリ〉 語彙力を高める問題（漢字・ことわざなど）

〈算トレ〉 計算問題や復習問題

○ 算数の少人数指導できめの細かい指導を行っています

算数では1学年や1学級を3つや2つのグループに分け少人数にして指導を行い、児童一人一人に対してきめの細かい指導を可能にした少人数指導を実施しています。

○ 家庭学習の手引きを配付し家庭とともに学力向上に取り組んでいます

児童の望ましい学習習慣や生活習慣の形成に向けて、「家庭学習の手引」を作成し、家庭と連携を図った取組を行っています。家庭学習の時間や方法、児童へのかかわり方はもとより、学習準備やテレビの視聴時間、運動など、生活習慣の形成に係る内容等を記載するなど特色ある手引を作成していますが、定着のための取り組み方に差があり、大きな課題となっています。

〈 質問紙調査について 〉

○基本的な生活習慣

	午後9時前	午後9時から10時	午後10時から11時	午後11時から午前0時	午前0時以降	
普段（月～金曜日），何時ごろに寝ますか	9	34	19	10	6	1段目：児童数
	11	43	24	12	7	2段目：本校割合
	6	43	36	10	2	3段目：全国割合
	4時間以上	3時間以上	2時間以上	1時間以上	1時間未満	しない
普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビやビデオ・DVDを見たり，聞いたりしますか（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間，テレビゲームをする時間は除く）	17	13	15	21	10	2
	21	16	19	26	12	2
	16	16	24	26	13	2
普段（月～金曜日），1日当たりどれくらいの時間，テレビゲーム（コンピュータゲーム，携帯式のゲーム，携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか	10	4	5	22	27	10
	12	5	6	28	34	12
	8	7	13	25	31	14

午後11時以降に就寝する児童が全国13.7ポイントに対し、20.5ポイントと、かなり上回っています。国語や算数の正答率を比べると早く寝る児童の方が高い傾向にあります。

テレビを視聴たりゲームをしたりする時間の長い児童が全国に比べるとかなり上回っています。

○話し合う活動

	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない	
友達と話し合うとき，友達の話や意見を最後まで聞くことができますか	33	34	8	3	1段目：児童数
	42	43	10	3	2段目：本校割合
	56	36	6	1	3段目：全国割合
今までに受けた授業では，学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか	28	32	15	3	
	35	41	19	3	
	45	38	13	3	
今までに受けた授業で，学級の友達との間で話し合う活動では，話し合う内容を理解して，相手の考えを最後まで聞き，自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか	21	34	18	5	
	26	43	23	6	
	33	43	18	4	

話を最後まで聞くことができると回答した児童が少ないことに注目します。

話をしっかり聞くことのできる児童の正答率が高い傾向にありますので、学校でも話を最後まで聞くことができるように指導をしています。